発行年月：平成２７年７月　作成：NPO 法人うらおそい歴史ガイド友の会　発行：浦添市教育委員会文化課

うらおそい歴史新聞

第２３号
平成２７年

○浦添グスク・ようどれ探検

夏休み恒例の浦添グスク・ようどれ探検を開催します。舜天王・英祖王・察度王統として栄えた「浦添グスク」と復元された「浦添ようどれ」など身近にある史跡・遺跡を通して郷土の歴史と文化に親しんでみませんか。開催日時は８月１６日（日）９時～１２時半。※受付は８時半より。参加料金は大人・子供ともにお一人様　３００円。（資料代、保険料含む）小学３年生以上の参加となります。※但し、小学生は保護者同伴。

【浦添城の前の碑】
第二尚氏７代目の王・尚寧王の命により、1597 年に浦添から首里までの道を整備した記念に建てられた竣工記念の碑。

【仲間樋川】
市内でも大きな井泉のひとつです。日常の飲用水、生活用水などに利用される共同井戸でした。浦添市指定史跡。

【探検ポイント】
☆浦添グスク・ようどれ館
☆浦添ようどれ
☆伊波普猷霊園
☆浦添家居館跡・ディーグガマ
☆展望台・トゥン
☆浦添城の前の碑
☆仲間樋川
☆クバサーヌ御嶽
☆浦添大公園南エントランス
申込み・お問い合わせは、浦添グスク・ようどれ館までお願いします。

○千羽鶴で供養

６月２３日の「慰霊の日」に、なかま学童クラブの平和学習がありました。同クラブは毎年「慰霊の日」に関連した平和学習を行っています。子供達に戦争や平和という言葉の意味、平和の尊さを感じてもらうために行っている事業です。

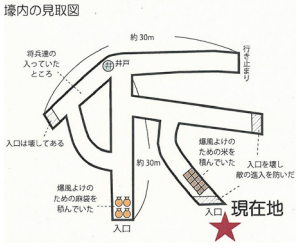
当日参加した小学生からは「ガイドさんのお話がわかりやすかったので、戦争とか平和について少しは勉強できました」、「戦争は人を殺したり、大勢の人が死ぬということなので絶対駄目です。友達とも仲良くします。これからも勉強します」などの声を聞くことができました。

最後は慰霊の日の行事に呼応してディーグガマでは、正午の時報に合わせて全学童支援員の方々が二度と戦争がないよう子供たちが折った千羽鶴を手向けて７０年前に命を亡くした人々の霊を供養しました。

○缶詰壕

今回は前号に引き続き、浦添グスクにある戦跡の一つをご紹介します。缶詰壕は、昭和１９年（１９４４）に造られた壕で、中は複雑な形状をしています。日本軍用の食糧を保管した壕で、「糧食壕」とも呼ばれています。魚肉団子や鯖、パインなどの缶詰のほか、乾燥野菜や米、酒（泡盛）、味噌などの入った箱や袋が豊富にあり、これらを出入口に積み上げることで、弾よけ・爆風よけにしていました。缶詰壕では大隊長や将兵のほか、カンパン壕よりも比較的軽度の負傷兵が身を隠し、脱出の機会をうかがっていたそうです。しかし火炎放射器などの攻撃をうけ、食糧は全て持ち出されてしまいました。

壕内の見取図



浦添グスク・ようどれ館

【開館時間】午前９時～午後５時
【入館料】
大人（高校生以上）１００円
小人（小中学生）５０円
※市内小・中学生は無料
【休館日】月曜日（※但し祝祭日の場合は開館）及び年末年始
【住所】〒９０１－２１０３
沖縄県浦添市仲間２－５３－１
【電話】０９８－８７４－９３４５
【アクセス】琉球バス交通牧港線（５５番）仲間バス停から徒歩５分
（５６番）安波茶バス停から徒歩10分
※地図など詳細は浦添市ホームページをご覧ください。